

- 1** 4/13(土) 10:00~15:00

オリエンテーション【基礎知識】

 - 災害時のジェンダーの視点
 - 交流会

浅野 幸子氏
- 2** 4/27(土) 10:00~15:00

熊本地震の現場から①

 - 避難所運営について
 - HUG(避難所運営訓練)

吉村 静代氏
水野 直樹氏
- 3** 5/11(土) 10:00~15:00

熊本地震の現場から②

 - 熊本学園大学避難所運営の経験・課題
 - 子ども・女性の困難と支援 ●障害のある女性の支援

黒木 邦弘氏
平野 みどり氏
- 4** 5/25(土) 10:00~12:30

熊本地震の現場から③

 - 性的マイノリティ・外国人の困難と支援
 - 男女共同参画の視点に立った防災 ●視察の心構え

佐久間 順子氏
吉村 千恵氏

視察

東北被災地現地視察

●6月 第2週(2泊3日予定)

東日本大震災で活動した女性リーダーに話を聞きます



- 5** 7/6(土) 10:00~15:00

スキルアップ実践編①

 - メンタルケア・レジリエンスを高めるワークショップ
 - 視察の振り返り

山本トースネス みゆき氏
- 6** 7/20(土) 10:00~12:30

スキルアップ実践編②

 - 親子向けワークショップの実践方法

柳原 志保氏
- 7** 7/27(土) 10:00~12:30

スキルアップ実践編③

 - 地域における活動実践ワークショップ

竹内 裕希子氏
- 8** 8/24(土) 10:00~15:00

スキルアップ実践編④

 - アクションに向けてのワークショップのファシリテーションスキル習得

平田 隆之氏
- 9** 9/7(土) 10:00~15:00

プレゼンテーション実践/修了式

成果発表

10/19(土)-20(日) ぼうさいこくたい2024 (開催地:熊本市)

※講義は一部オンライン配信あり。やむを得ず欠席する場合は、補講として後日アーカイブ配信を予定
※随時、勉強会や成果発表準備なども行います(参加は任意)

浅野 幸子氏 減災と男女共同参画研修推進センター共同代表
早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員



阪神・淡路大震災に際して学生ボランティアから国際協力NGOのスタッフとなり、在宅避難者・仮設住宅・全焼地域の復興支援などに4年間従事。2011年に発足した東日本大震災女性支援ネットワークの活動に参加。2014年より現職。主な分野は地域防災、災害とジェンダー・多様性。各地で防災講演・講座・研修を行いながら、国の「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」(2020)などにも関わる。

吉村 静代氏 益城だいすきプロジェクト「きままに」代表理事
防災士



1992年「益城まちおこし塾」、1994年益城町ボランティア連絡協議会、1997年「防災ボランティア益城」を結成。熊本地震では益城中央小学校体育館に4カ月滞在、「できる人が、できることを、できたしこ」を合言葉に自主運営に尽力。熊本豪雨災害時には、いち早く被災地支援に参画。3カ月間人吉に滞在して支援を続けた。県内外での講演多数。

水野 直樹氏 NPO法人ソナエトコ理事長
防災士



1997年より熊本シティエフエムのパーソナリティとして活動をスタート。まちづくり・教育・防災分野を担当。2013年、防災・防犯・教育をテーマに、NPO法人「ソナエトコ」を設立。熊本地震では、熊本市内の指定避難所で運営支援を行う。2016年、KVOAD(くまもと災害ボランティア団体ネットワーク)の理事に就任。

黒木 邦弘氏 熊本学園大学社会福祉学部教授
専門:ソーシャルワーク実践論



2016年熊本地震にて熊本学園大学のインクルーシブな避難所運営に携わる。関連書籍として、熊本学園大学編(2017)『平成28年熊本地震大学避難所45日〜障がい者を受け入れた熊本学園大学震災避難所運営の記録〜』(熊本毎日新聞社発行)がある。

平野 みどり氏 元県議会議員
認定NPO法人DPI日本会議議長



30歳の時、脊髄腫瘍術後麻痺により車いすユーザーとなる。1997年に熊本県議会議員補欠選挙で初当選。常にジェンダー平等の視点で子育て、教育、人権などの課題に取り組む。2015年に引退。現在は、障害者運動に軸足を置き、特に障害を持つ女性たちの直面する複合差別や優生保護法被害者の裁判支援を含め、社会から優生思想をなくすための活動に取り組んでいる。

佐久間 順子氏 コムスタカー外国人と共に生きる会事務局長



2011年より在住外国人の支援団体「コムスタカー外国人と共に生きる会」で活動を行う。熊本地震直後より、外国人被災者に避難所情報や防災・災害関連情報を多言語化し伝えてきた。また、被災した外国人シングルマザー 30人へのインタビューを行い、災害時の課題を調査してきた。現在も移民女性の問題を中心にコムスタカーで支援活動を行っている。

吉村 千恵氏 くまにじ 運営メンバー
尚綱大学短期大学部総合生活学科講師



東日本大震災後に京都YWCAの災害支援担当スタッフとなり支援活動に従事。2016年の熊本地震の際には、当時勤務していた熊本学園大学で障害者・高齢者のための避難所運営に携わる中で、LGBTQ+の当事者も避難しているなど、多くの気づきと学びの機会を得た。現在は障害を持つ学生の避難計画書作りのワークショップやガイドブック作成なども行っている。

山本トースネスみゆき氏 EQ College主宰/心理カウンセラー/
チームビルディングファシリテーター



看護師を経て1995年に単身渡米。米国で看護士号・修士号を取得後、在宅緩和ケアの臨床・教育・コンサルティングに携わる。看取りの仕事を通して、心と体の関連、スピリチュアリティ、死生観に着目し、独自の活動を展開。2013年に帰国後、熊本を拠点に国内・海外でEQ Collegeを主宰。人間の可能性や喜びを引き出すためのプログラムをデザインすることを特徴とする。

柳原 志保氏 Rin第1期修了生
防災士/栄養士/ペット防災サポート士



宮城県多賀城市生まれ、熊本県和水町在住。2011年東日本大震災で自宅が大規模半壊、シングルマザーとして避難所生活を送る。翌年熊本へ移住、2016年熊本地震、2020年7月豪雨を経験する。『歌う防災士しほママ』のネーミングで、大災害の経験と教訓をママ目線でわかりやすく伝え、イベント、メディアなど多方面で防災活動を行う。

竹内 裕希子氏 熊本大学大学院先端科学研究部教授
NPO法人くまもと防災士会代表理事



東京農工大学大学院農学研究科環境・資源学専攻修士課程修了。立正大学大学院地球環境科学研究科環境システム学専攻博士後期課程単位取得満期退学。博士(理学)。独立行政法人防災科学技術研究所、京都大学防災研究所等の勤務を経て現職。専門は地理学、地域防災、防災教育。著書に『熊本地震の真実-語られない「8つの誤解」』(明石書店、2022年)など。2023年、「NPO法人くまもと防災士会」を設立。

平田 隆之氏 NPO法人市民プロデュース理事長



山口国体(2011)・東京国体(2013)・山口ゆめ花博(2018)、東京オリンピック・パラリンピックボランティア交流会(2021)など、市民参加型の大型イベントにおいて、多様なセクターをつなぐ協働の架け橋の役割を担う。市民活動団体やNPO法人を対象とした各種講座の講師、自治体職員向けの協働推進の支援、地域運営組織の組織づくりや地域づくり計画策定の支援などにも取り組んでいる。

「Rin(りん)」愛称に込めた思い

「凛」とした美しさや優しさ「隣」り合う人たちを思う力「困難な場面に」臨む姿勢「いろいろな立場の人たちの輪」のようなつながり「災害に負けない、互いにささえあう力を持った女性たちが数多く誕生することを願い、名づけました。また、「鈴」の音には邪気を祓う力があるとされています。メンバーの存在が、助けを求める人の暗い闇を払う光となるように、そんな思いが込められています。

